

2022年3月期第2四半期 決算説明

2021年10月29日

JASDAQ: 6467

株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

<https://www.nichidai.jp/>

- 1) 事業紹介
- 2) 22/3期第2四半期 決算概要
- 3) 22/3期通期 業績予想
- 4) 配当について
- 5) 中期経営戦略
- 6) お知らせ

ネットシェイプ事業

高精度な自動車部品をつくる「金型」を
トータルサポート



高精度・省資源・高強度

エンジン関連部品

トランスミッション部品

駆動関連用部品

カーエアコン用部品

自動車関連



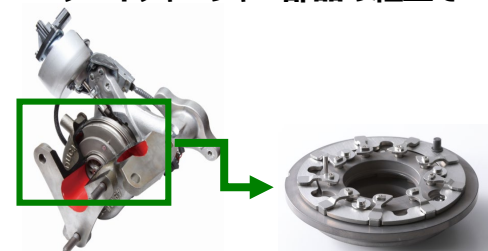
アセンブリ事業

自動車の燃費向上・
排ガス削減に役立つ
キーパーツを組立て



高品質・自動化・2 極生産

ターボチャージャー部品の組立て



この部分を組立てています

航空宇宙

フィルタ事業

過酷な条件で使える
金属フィルターを
様々な産業に提供



高強度・耐熱・耐酸性

積層焼結金網フィルター



食品



医薬品

1) 事業紹介

2) 22/3期第2四半期 決算概要

3) 22/3期通期 業績予想

4) 配当について

5) 中期経営戦略

6) お知らせ

第2四半期業績予想の上方修正 – 2021年10月29日発表 –

単位:百万円

	22年3月期 第2四半期 (予想)	22年3月期 第2四半期 (実績)	増減額	増減率
売上高	6,800	6,788	▲11	▲0.2%
営業利益	135	255	120	+89.2%
経常利益	145	250	105	+72.5%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	100	142	42	+42.1%

概要

■ 2021年7月に公表した2022年3月期第2四半期の業績予想値と実績値に差異が発生。

■ ネットシェイプ事業とフィルタ事業が計画以上の売上高になったことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が計画以上に増加。

※百万円未満切り捨て

2) 22/3期第2四半期 決算概要 -売上高・利益の状況-

単位:百万円

科 目	21/3期 第2四半期 実績	22/3期 第2四半期 実績	対前期 増減率	22/3期 第2四半期 計画
売上高	5,099	6,788	33.1%	6,800
売上総利益	587	1,338	127.9%	1,265
販売管理費	986	1,082	9.8%	1,130
営業利益	▲399	255	—	135
営業外損益	▲125	5	—	▲10
経常利益	▲273	250	—	145
親会社株主に帰属 する四半期純利益	▲208	142	—	100

※百万円未満切り捨て

単位:円

為替レート	21/3期 第2四半期 実績	22/3期 第2四半期 実績
米ドル	108.36	110.61
タイバーツ	3.44	3.49

概要

■売上高

自動車産業の回復と連動して、売上高が前年と比較して増加。

■売上総利益

売上高増加に伴い増加。

■営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益

売上高の増加により、利益を計上。

2) 22/3期第2四半期 決算概要 -事業別売上高の状況-

単位: 百万円

事業名	21/3期 第2四半期 実績	22/3期 第2四半期 実績	対前期 増減率
ネットシェイプ 事業	2,338	3,360	43.7%
アッセンブリ 事業	1,630	2,204	35.2%
フィルタ 事業	1,130	1,222	8.1%
連 結 計	5,099	6,788	33.1%

※百万円未満切り捨て

概要

■ネットシェイプ事業
自動車生産が回復し、増加。

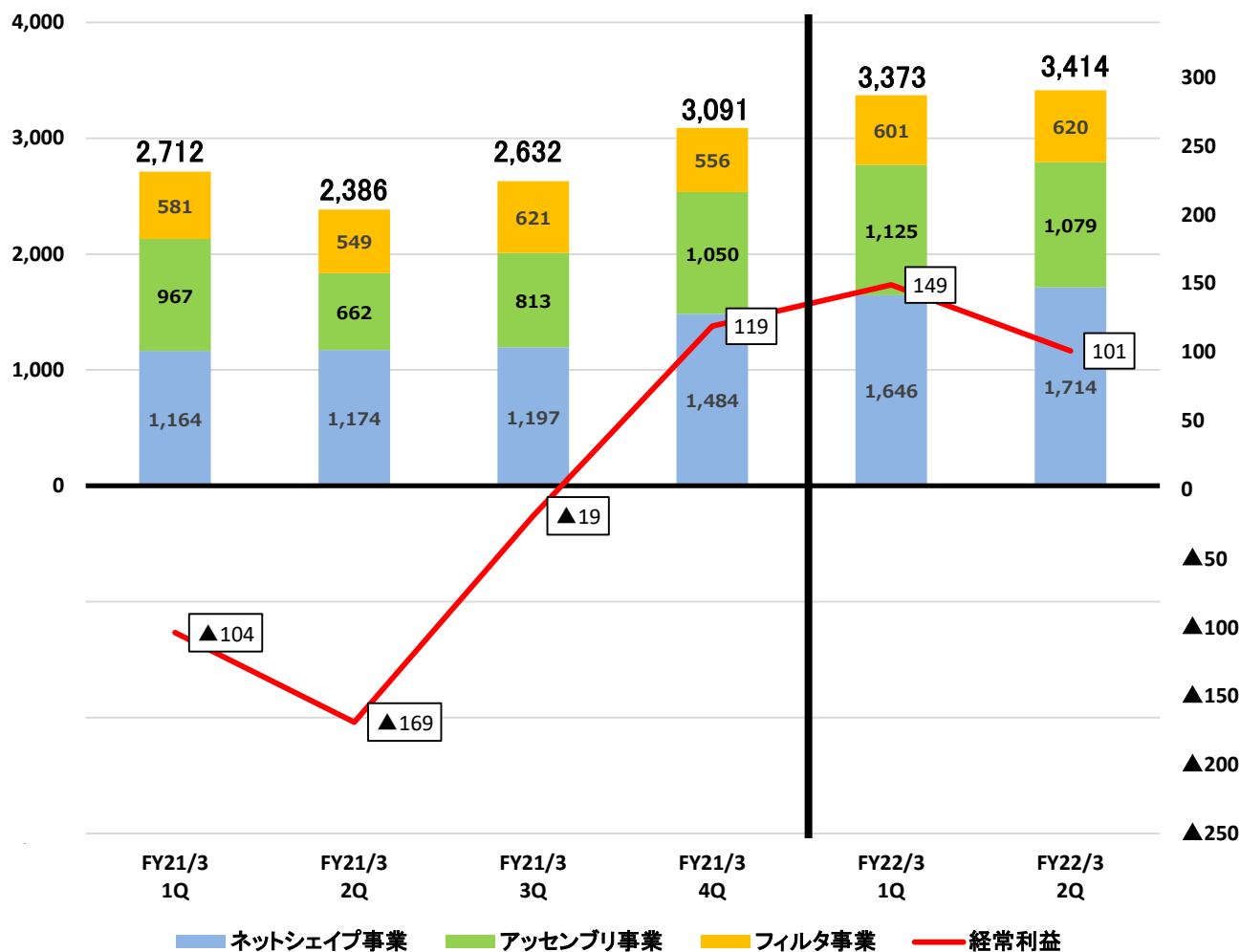
■アッセンブリ事業
ネットシェイプ事業と同様、自動車生産の回復に伴い増加。

■フィルタ事業
堅調な歩調を崩さず、前年同期比増加。

2) 22/3期第2四半期 決算概要 -四半期別業績推移-

売上高(左軸)
棒グラフ
単位:百万円

経常利益(右軸)
折れ線グラフ
単位:百万円



※百万円未満切り捨て
グラフ上方:売上高合計

概要

■ ネットシェイプ事業は、前年から増加傾向で推移。

■ 半導体不足と部品不足の影響が、第2Qのアッセンブリ事業の売上高に影響。

■ フィルタ事業は、前年から、堅調な業績で推移。

2) 22/3期第2四半期 決算概要 - ネットシェイプ事業の推移 -

《国内外別売上高・経常利益》

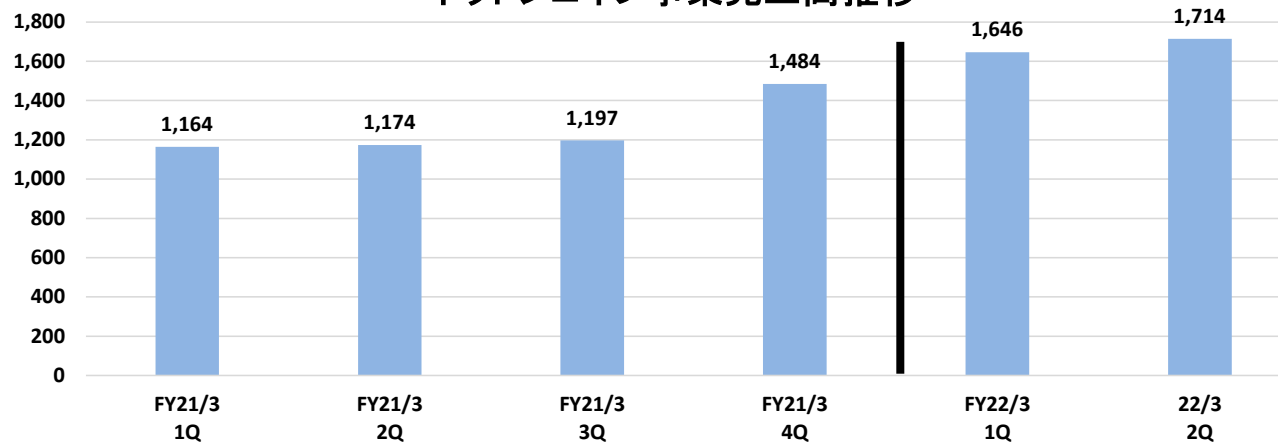
単位：百万円

ネットシェイプ事業	21/3期 第2四半期 実績	22/3期 第2四半期 実績	対前期 増減率
国 内	1,470	2,092	42.3%
海 外	868	1,268	46.1%
売上高 計	2,338	3,360	43.7%
経常利益 (経常利益率)	▲308	87	—
	▲13.2%	2.6%	—

※百万円未満切り捨て

ネットシェイプ事業売上高推移

単位：百万円



概要

【売上高増減要因】

ネットシェイプ事業では、自動車産業とともに、国内外ともに売上高が回復。

【経常利益増減要因】

売上高の回復により、経常利益を計上。

2) 22/3期第2四半期 決算概要 -アッセンブリ事業の推移-

《国内外別売上高・経常利益》

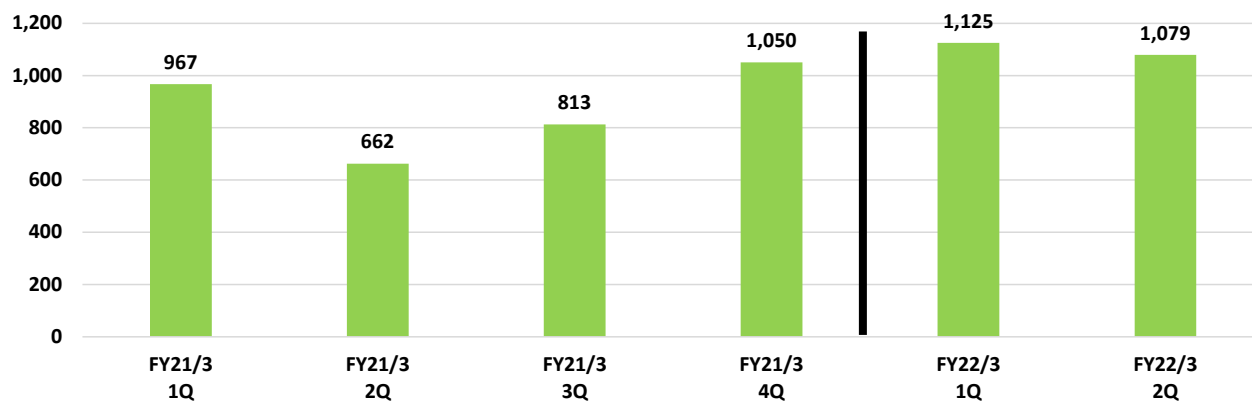
単位：百万円

アッセンブリ事業	21/3期 第2四半期 実績	22/3期 第2四半期 実績	対前期 増減率
国 内	959	943	▲1.7%
海 外	670	1,261	88.1%
売上高 計	1,630	2,204	35.2%
経常利益 (経常利益率)	▲125	0	—
	▲7.7%	0.0%	—

※百万円未満切り捨て

アッセンブリ事業売上高推移

単位：百万円



概要

【売上高増減要因】

・自動車生産の回復により、ターボチャージャー部品の需要が回復。

・東南アジアでの新型コロナウイルス感染の再拡大による部品供給不足の影響などにより、1Qと比較し2Qの売上高が減少。

【経常利益増減要因】

1Qは経常利益を計上したものの、売上高減の影響などにより、2Qは経常損失を計上。

2) 22/3期第2四半期 決算概要 -フィルタ事業の推移-

《国内外別売上高・経常利益》

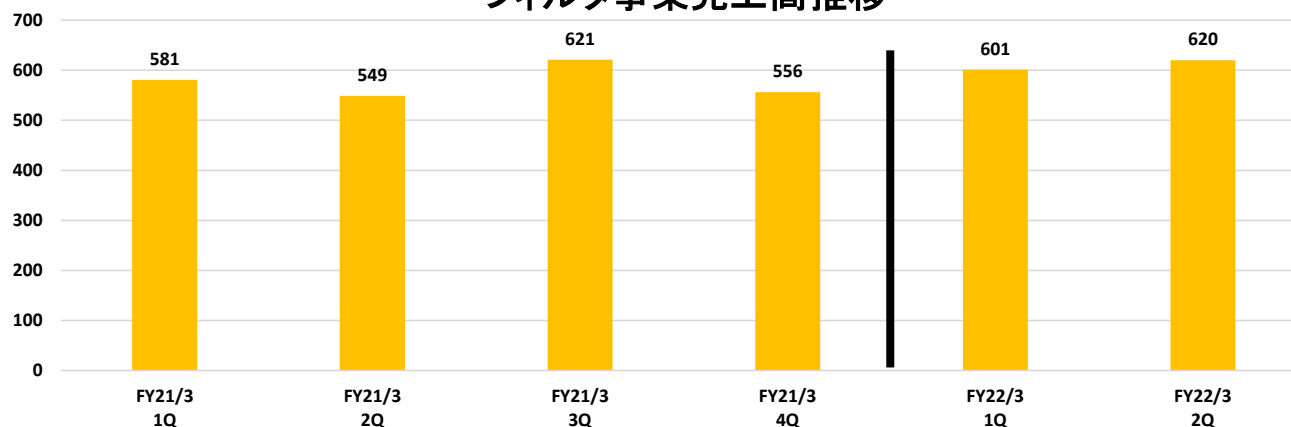
単位：百万円

フィルタ事業	21/3期 第2四半期 実績	22/3期 第2四半期 実績	対前期 増減率
国 内	839	807	▲3.8%
海 外	290	415	42.7%
売上高 計	1,130	1,222	8.1%
経常利益 (経常利益率)	159	161	1.5%
	14.1%	13.3%	—

※百万円未満切り捨て

フィルタ事業売上高推移

単位：百万円



概要

【売上高増減要因】

業績を堅調に維持し、増収。特に、海外向けの売上高が増加。

【経常利益増減要因】

売上高が好調に推移し、経常利益も増加。

2) 22/3期第2四半期 決算概要 -B/Sの状況-

21年3月期
資産合計
15,656

+919

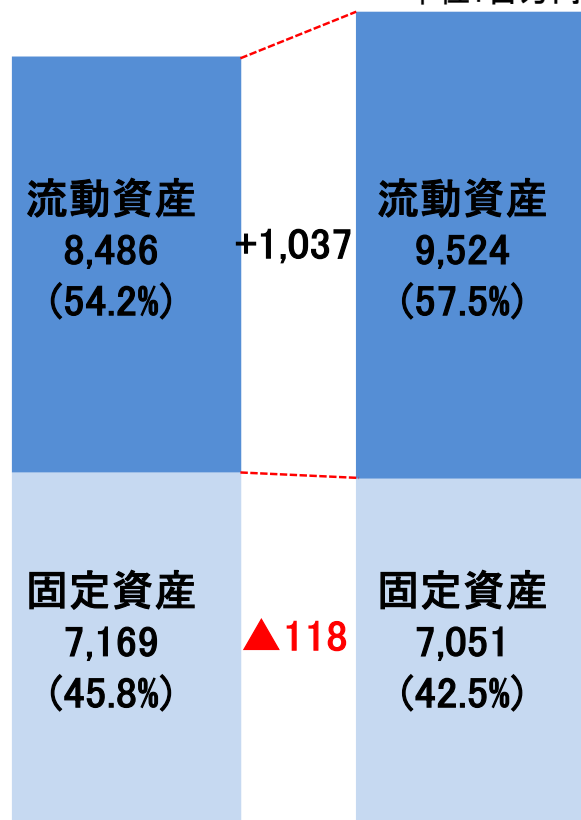


22年3月期 第2四半期
資産合計
16,575

※百万円未満切り捨て・()内は構成比

資産の部

単位:百万円

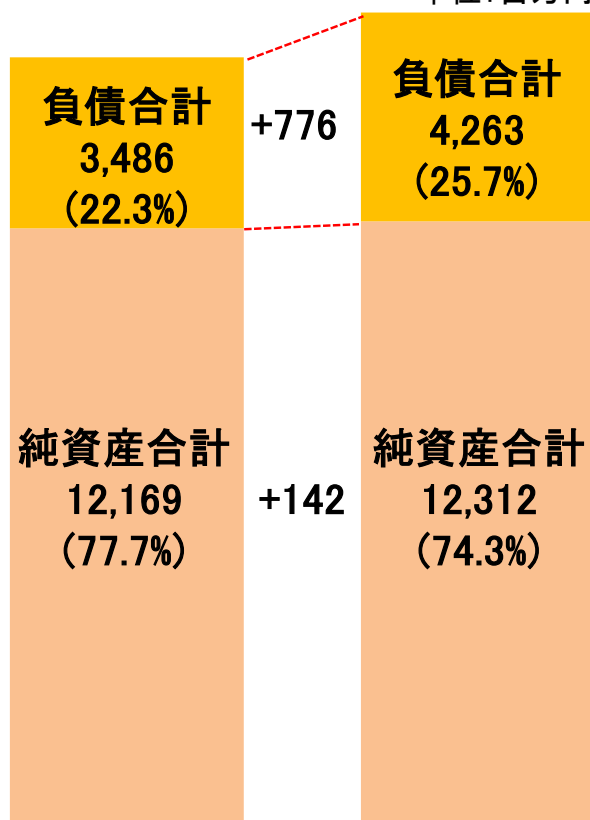


FY21/3

FY22/3 2Q

負債・純資産の部

単位:百万円



FY21/3

FY22/3 2Q

概要

■流動資産

売上債権の増加
(+392百万円)
棚卸資産の増加
(+184百万円)

■負債合計

買掛金の増加
(+181百万円)
リース債務の増加
(+400百万円)

■借入金

21年3月期
1,361百万円
22年3月期第2四半期末
1,408百万円

2) 22/3期第2四半期 決算概要 -C/Fの状況-

単位: 百万円

	21年3月期 第2四半期 実績	22年3月期 第2四半期 実績	増減額
営業活動によるCF	486	380	▲105
投資活動によるCF	▲435	▲310	125
財務活動によるCF	198	346	148
現金及び現金同等物増減額	183	429	245
現金及び現金同等物の 期首残高	3,367	3,144	▲223
現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,551	3,573	22
FCF	50	70	20

※百万円未満切り捨て

概要

■営業活動によるCFの 主な内訳

税金等調整前
四半期純利益

21年3月期2Q

(▲274百万円)

22年3月期2Q

(224百万円)

増減額

(+498百万円)

売上債権の増減額

(▲は増加)

21年3月期2Q

(942百万円)

22年3月期2Q

(▲391百万円)

増減額

(▲1,333百万円)

- 1) 事業紹介
- 2) 22/3期第2四半期 決算概要
- 3) 22/3期通期 業績予想**
- 4) 配当について
- 5) 中期経営戦略
- 6) お知らせ

3) 22/3期計画 -売上高・利益の状況-

単位:百万円

科 目	21/3期 通期 実績	22/3期 通期 計画	対前期 増減率
売上高	10,823	13,600	25.7%
売上総利益	1,609	2,670	65.9%
販売管理費	1,949	2,270	16.5%
営業利益	▲339	400	-
営業外損益	▲165	▲30	-
経常利益	▲173	430	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲170	290	-

※百万円未満切り捨て

単位:円

為替レート	21/3期 通期 実績	22/3期 通期 計画
米ドル	103.52	104.00
タイバーツ	3.44	3.40

概要

■計画

通期業績予想を据え置き、変更なし。

■据え置き背景

・自動車産業において、半導体の供給不足や部品供給不足の影響が生じており、完成車メーカー各社の生産が停滞している状況。

・加えて、新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立っておらず、引き続き先行き不透明な状況が継続。

- 1) 事業紹介
- 2) 22/3期第2四半期 決算概要
- 3) 22/3期通期 業績予想
- 4) 配当について**
- 5) 中期経営戦略
- 6) お知らせ

4) 配当について

上半期は、計画以上の利益となったものの、先にご説明した通り、主要顧客業界である自動車産業の状況が先行き不透明な状況であることから、年間配当額の予想を据え置きとさせていただきます。

	第2四半期 円銭	期 末 円銭	年 間 円銭
20年3月期 (実績)	10.00	10.00	20.00
21年3月期 (実績)	—	4.00	4.00
22年3月期	5.00	5.00 (予 想)	10.00 (予 想)

- 1) 事業紹介
- 2) 22/3期第2四半期 決算概要
- 3) 22/3期通期 業績予想
- 4) 配当について
- 5) 中期経営戦略**
- 6) お知らせ

5) 中期経営戦略

2019年3月期以降、下記の挑戦、戦略をもとに、中期経営戦略を推進。

基本戦略

挑戦1 既存事業強靱化への挑戦

他社の追随を許さない技術力の構築

- ニッチトップへの取り組み
- シナジーを活用した独自技術の進化と構築

さらなるQDCの改善

- 各種KPIの達成
- 原価低減の着実な取り組み

挑戦2 次世代への挑戦

海外事業のさらなる進化

- 海外比率拡大
- さらなる海外拠点の強化

新規事業の立ち上げ

- 次世代自動車への対応
- 社内シーズの活用

人事・制度戦略

挑戦3 働きがいのある職場への挑戦

自己実現を果たせる環境

- 挑戦を歓迎する仕組み
- 成長を描ける仕組み

働きやすさの充実

- 働き方改革
- コミュニケーション改革

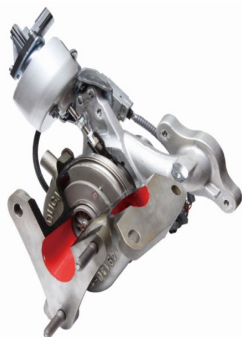
挑戦1 既存事業強靱化への挑戦

- 他社の追随を許さない技術力の構築
- さらなるQDCの改善

【取り組み】

■シナジーの創出

精密鍛造技術を活かしたターボチャージャー部品向け構成部品を確立し、アッセンブリ事業とネットシェイプ事業のシナジーによる構成部品内製化の促進と搭載機種種の受注獲得。



挑戦2 次世代への挑戦

- 海外事業のさらなる進化
- 新規事業の立ち上げ

【取り組み】

■ タイでの金型生産拡大

昨年からインドの販売代理店と提携し、海外活動を強化。高付加価値の金型のタイ拠点への生産移管を推進。



挑戦3 働きがいのある職場への挑戦

- 自己実現を果たせる環境
- 働きやすさの充実

【取り組み】

■ システムの刷新

今年度から新しい基幹システムを稼働。データ内容の精度や、データ連携のさらなる向上を図るなどし、業務の高度化・効率化に大きく貢献。



- 1) 事業紹介
- 2) 22/3期第2四半期 決算概要
- 3) 22/3期通期 業績予想
- 4) 配当について
- 5) 中期経営戦略
- 6) お知らせ**

スタンダード市場選択申請

2022年の東京証券取引所の市場区分再編に伴い、当社は従来のJASDAQ市場から、スタンダード市場を選択申請することを決定いたしました。

スタンダード市場のコンセプト

公開された市場における投資対象として十分な流動性とガバナンス水準を備えつつ、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上にコミットする企業向けの市場

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本日は、ありがとうございました。

株式会社 ニチダイ NICHIDAI CORPORATION

- ・ 本資料は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。
- ・ 従いまして、様々な不確定要素が内在しており、結果的には実績が見通しと異なる場合があります。

IR窓口：経営企画室／紺野

Tel : 0774-62-3485

Fax : 0774-65-2301

E-mail: konno@nichidai.co.jp

補足資料

(参考)22/3期第2四半期 決算概要 -売上原価-

単位:百万円

	20/9 実績	比率	21/9 実績	比率
売上高	5,099	100.0%	6,788	100.0%
材料費	1,629	31.9%	2,399	35.3%
製品仕入	280	5.5%	480	7.1%
外注加工費	492	9.7%	585	8.6%
補助材料費	174	3.4%	217	3.2%
人件費	1,236	24.2%	1,359	20.0%
減価償却費	331	6.5%	321	4.7%
在庫増減	▲44	▲0.9%	205	3.0%
その他	322	6.3%	292	4.3%
売上原価	4,512	88.5%	5,450	80.3%
売上総利益	587	11.5%	1,338	19.7%

※百万円未満切り捨て。

(参考)22/3期第2四半期実績 -販売管理費-

単位:百万円

	20/9 実績	比率	21/9 実績	比率
売上高	5,099	100.0%	6,788	100.0%
荷造・運賃	61	1.2%	83	1.2%
旅費交通費	20	0.4%	23	0.3%
人件費	535	10.5%	557	8.2%
減価償却費	54	1.1%	71	1.0%
賃借料	31	0.6%	31	0.5%
その他	281	5.5%	315	4.6%
販売・管理費	986	19.3%	1,082	16.0%

※百万円未満切り捨て。